

自覚症状がなく、透視により始めて発見した。空気の完全吸収後気腹を継続したが、4ヵ月後に再び右側自然気胸を偶発、軽度の呼吸困難あり脱気した。その後は順調に気腹を継続した。症例 2。26 歳，女教員。右肺上中

野及び左肺尖の滲出性病巣に対し、人工気腹を実施、回目に右側自然気胸を偶発した。上記 2 症例の発生序，空気の通路等に関し，文献を参照して考按をなした。

訂 正

前号 87 頁の第 1 図と第 3 図の凸版が入れ違いになりました。

ここに謹んで訂正し

小沢 敦・滝井督三・川本 昭 諸先生並びに
全読者の皆さまに心よりお詫び申し上げます。

第 30 巻 第 3 号
(3 月号)

結 核

昭和 30 年 3 月 10 日印刷
昭和 30 年 3 月 15 日発行

編 集 者 隈 部 英 雄

東京都世田谷区経堂四六〇番地

発 行 者 株式会社 東西医学社
代表者 折 井 清

東京都中央区銀座西七丁目一番地

印 刷 者 株式会社 行政学会印刷所
代表者 藤 本 外 次

東京都立川市曙町三丁目五五番地

発 行 所 株式会社 東西医学社

東京都中央区 銀座西七丁目一番地
振替東京60850番・電話銀座2126-2129

定 価 120 円 (〒共) 1 年 1200 円 (会 員 1000 円)